



とくに仕事上、環境問題や持続可能な取り組みは毎興味をもっています。

「コルティナダンペッソ」
2月6日から開催されるミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピック。
3月にはワールドベイスボールクラシック、6月にはサッカーのワールドカップとスポーツ観戦の好きな私にはたまらない1年が始まりました。



今回のオリンピックで注目されている取り組みが「分散開催」。

昨今のオリンピックでは、会場を集約し新たに競技場を建設し、練習会場、宿舍など選手や観客の移動時間を短くすることで二酸化炭素排出など環境負荷を低減させる取り組みが開催地選択の一つとされています。

しかし、そのことが大会後に問題視され競技場などが負の遺産になっていく開催国は少なくありません。

大会が終わればそれらは全て自国の問題となります。

ウェア全体の92%は環境配慮素材を使用しており、ウェアの一部にはQRコードラベルが付けられ、スマートフォンで読み取ると原産地や使用素材の情報だけでなく、使用後どこへ

個人的に今回の冬季五輪で最も注目しているユークロ作成のスウェーデン代表関係者のウェアについてお話しします。

また新設の選手村は大会後に学生寮や社会福祉住宅として活用されることが決まっております、学生向けの住宅不足が深刻な問題となっているイタリアならではの解決方法です。

回収されるかまで確認できるようなっているそうです。

繊維廃棄物の回収やリサイクルを義務付ける規制が強化されつつある欧州ならではの取り組みです。

皆様の洋服ご購入の際は、見た目+使用素材+処分方法を意識しご購入をよろしくお願いいたします。

処分する際は、北区リサイクラー事業協同組合で集団回収を実施している町会にお住まいの方は集団回収に、そうでない方はエコー広場など古布古着の持ち込み可能施設を是非ご利用ください。

編集後記

シールってなんであんなにも子ども達の心を掴むんですね。

掴まれたまま大人になった人たちがパソコンにペタペタシールを貼ってしまうのですね。

(サクマ ダイスケ)

次号(161号)の発行は4月1日になります。

(鰐淵 雄一郎)



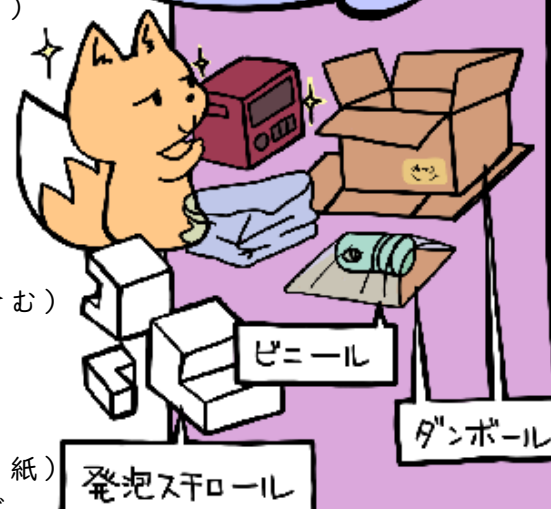
古紙をリサイクルする際、製紙原料にならないものを「禁忌品 (きんきひん)」といいます。日本の古紙は分別が徹底している為「JAPAN QUALITY」と言って海外では人気があるようです。これからも分別をしっかりと確認しながら限りある資源を守っていきましょう。

禁忌品一覧

- ・臭いのついた紙 (石鹸、洗剤、線香の紙箱等)
- ・プラスチックのついた牛乳パック (取り除けば可)
- ・シール、ステッカー
- ・糊のついた封筒や窓付きの封筒 (取り除けば可)
- ・防水加工されたもの (紙コップ、ヨーグルトの容器等)
- ・カーボン紙 (宅配便伝票等、黒くなるもの)
- ・感熱紙 (レシート等)
- ・圧着ハガキ
- ・写真 (インクジェット等、自宅で印刷した写真も含む)
- ・プラスチックフィルムやアルミ箔などを貼り合わせた複合素材 (通販用緩衝封筒)
- ・金、銀などの金属が箔押しされた紙
- ・捺染紙 (布等にアイロンでプリントしたりする紙)
- ・感熱性発泡紙 (点字等で使用されているもので熱を加えた所が盛りあがる紙)
- ・合成紙 (選挙の公示用ポスター、投票用紙などプラスチックで作られているので正確には紙ではない為)

通信販売の段ボールの中に入っているビニールや発泡スチロールはプラスチック回収に。

古紙回収には段ボールだけにしてから出してね!



混ぜっていると機械が壊れたりせつかつくつた再生紙を捨てないといけなくなったりしちゃうのです...!

MOTTAI NAI!!

ペタペタ...ツルツル...ポコポコ...さわってみてふつうの紙とちがう感じがしたら調べてみてね!